



# 全国商工新聞

長岡版

発行編集  
長岡民主商工会  
長岡市中沢167-1  
☎ 33-5948

2016年  
10月3日  
第1830号

# 「消費増税中止」「戦争法廃止」「マイナンバー制度廃止」「TPP協定反対」4つの署名を会外へ広めましょう

## 今月に入って料飲業者と建設業者の方2名が入会

### 事務所に電話があったのは先月末。数年前に民商を退会した飲食業者の店主の方からでした。「以前、会に入っていた者ですけど相談にのってもらえませんか？」と・・・話を聞く中で、年々客足が減って営業が困難になっている。

でも年金だけでは生活が苦しいとの事。早速会う日を決めてお店に訪問しました。これまでのお店の收支を見せてもらい、現在の状況を教えてもらいました。「経済的に厳しくて民商を退会したけれど、相談できるところが民商しかなくて・・・」「再入会してもらい、これからは支部の役員さんも一緒に相談を続けることにしました。



建設業で60代の男性。「一人親方労災」に入りたいのですが」と事務所を訪問してくれました。「来月から県外の仕事に行くため労災保険加入が必要なのだ」と言う事でした。民商に入会し、労災加入の手続きを済ませ、「民商はどこで知りました？」との問いに、「柏崎市の知り合いから勧められました。実は地元の仕事仲間にも以前から勧められていました」民商良さをみなさんが広めてくれています。



今民商は、4つの署名を持ち、知り合いの業者仲間にお願ひしながら、民商の話をしようと運動中です

## 市長選予定候補の「いそだ」さんが長岡民商の常任理事会議で挨拶

27日に民商事務所で行われた「常任理事会議」に、長岡市長選に立候補を予定している「いそだ」さんが、挨拶のために事務所に駆けつけてくださいました。



長岡野菜や栃尾の米、そして寺泊のおいしい魚、これが魅力で県外からも大勢の人が長岡に来てくれている。大きな事故でなくても、もし原発に何か起きたら、長岡の経済は成り立たなくなる。「再稼働はすべきでない」と、信念をもって話されました。リフォーム助成の継続や商店版リフォームも行いたいとの話もあり、役員さんからは「話が聞けて本当によかった。当選のために頑張りたい」との声が多く聞かれました。

## 新潟日報「ふむふむ」で福島第一原発を特集

新潟日報の10代向け新聞のふむふむ9月25日号で、東日本大震災による地震と津波で事故を起こした、東京電力福島第一原発の今を特集しています。事故から5年半が経過して、いまだ廃炉作業が難航していること、地下水が配管の隙間から建屋に流入している、高濃度の汚染水と混ざり、汚染水として増え続けていること、熔け落ちた核燃料の取り出しにあたって、高い放射線量に阻まれ、原子炉内の状況把握が難航していることなどを伝えています。ひとたび事故になれば、地域住民だけでなく周辺地域の住居や仕事場までも奪い、住民を悩ませ続けるのが原発です。再生可能で安全なエネルギー政策への転換を強く望みます。

